

## 「上田涼也さんと大島の共育を語ろう 交流会」 感想まとめ

教員として参加したのですが、普段話すことのない方の話などを聞くことができとても勉強になりました。子供達の成長のためにこんなに頑張っている人たちがいて大島で教員として働くことができうれしく終わりもありました。貴重なお時間ありがとうございました。

娘が登校拒否でした。この事を話が出来たことで、自宅が安全地帯となり、今は、やりたい学びをやり続けてます。大島の取り組み、いろいろ聞かせていただきありがとうございました。始めるきっかけ、育て方、学ばせてもらいました。このような機会を紹介頂きありがとうございました。

教育改革のニーズが、間違いなく切実にありますね。

今日のような場が日本中であって、みんなが幸せな一生を送れるように、方向性をちゃんと考えて、システムを作っていかななくては！と思いました。

若く柔軟で行動力ある、とお見受けした上田さんのような方々（1人じゃ辛いです。良い仲間と共に。）のお働きに期待しながら、私たちは私たちで、地道に地域の活動をしていきたいと思います。

今日、大島の中に、ちゃんと可能性を感じました。考えて動く人がたくさんいると知りました。嬉しかった。それと、遠くから来てくれた人がたくさんいてびっくりし、ありがたく思いました。

とても有意義な交流会でした。と、いうのも、あの交流会から島に居を構えた大先輩の元教員の方や島の共育に想いある方々と繋がり、お話を伺いに出かけたり、声をかけて下さり、島内縦横しておりました。

（時間講師ですが）島内の公教育内部現場に身を置き、これまで以上に、島の共育のあり方に変化変容を求められる状況を出会った島の子どもたちから、ひしひしと感じています。この度お招きした文科省上田涼也さんや主催されたGUさん、島のマンパワーで、島の新しい共育のカタチがデザインできるんじゃないかなと、登壇されたお話から、希望期待が持てました。

会場の藤倉学園はどおなるのでしょうか？何か島の学びの共育・共生の場づくりに活用できたら素敵だな…なんて思いました。

また、この様な会や会合等、ありましたら、参加、談議したいです。

私の娘は小学校1年生の時に不登校を経験しました。娘がのびのびと教育を受けられる環境、そして私たちらしく生きていける場所をと考え、仕事を辞めて伊豆大島に戻ってきました。今、娘が安心して毎日学校に通えているのは、ひろみさんをはじめ、子どもたちへの熱意や愛情、地域への思いを持つ多くの方々のおかげだと改めて感じ、深く感謝しています。

交流会を通して、島の教育や子どもたちのこれからについて深く考える時間となりました。さくら小学校や二中では素晴らしい取り組みが行われていますが、同じ大島のつばき小学校、つつじ小学校ではなかなか広がっていない現状もあります。しかし、熱意を持って行動する人が一人、二人いるだけで状況は変わるのではないかと感じました。来年度は、子どもたちにとってよりよい学びの機会を生み出せるよう、つばき小やつつじ小でも自分から行動していきたいと思います。今回は島への愛や感謝を改めて感じることできる、とても貴重な時間となりました。ありがとうございました。

学校や地域で様々な活動されていることを知りました。もっとそれぞれが交流を気軽にできるといいですね。

小さい頃からいろんな子が混ぜこぜになって一緒の場にいることの大切さを痛感しています。島外から全く知人のいない島の高校に入学し、教員の方々は娘が入学することによって、子を尊重する教育へと試行錯誤を重ねられ、娘にとって適切な評価をしてくださるようになっていきました。難しかったのは、生徒や親御さん達の理解でした。初期の頃は、学校側に直接「あんな子が入ったら学校全体の評価が下がる」「あんなに手間のかかる子が入ると他の子が疎かにされるから迷惑」という苦情があったそうです。残念だったのはそれが子供達に伝わり、一部のクラスメートからは「障害児なんかいなくなればいいのに」「高校に来るな」「死ね」と言われ続けました。

もし日本が幼少期から分離教育ではなくどんな子も一緒に、という教育だったら、自分たちと違う異質な子が同じ場にも「あなたのいるべき場所ではない」という排除思考が育たなかったのかと思うと、残念な気持ちです。世の中にはいろいろな子がいるのが当たり前。みんな同じ学びを受ける権利があるという教育が変わっていったらいいと思いました。

約10年前、娘が不登校になりました。最近当時の気持ちを少しずつ話してくれるようになって印象に残っている話があります。「フリースクールに行けて人多くて、どんなところか行ってみたけど、どこのスクールも何かさせられるんだよね。」

当時引きこもってから1年くらい経ってから思ったことだそうです。何もしなくていい。いるだけでいい。家の外に出られるようになったばかりの子には、何かするのはムリ！ ゆっくりできる場所を作ってあげてください。

多様な学びの場があること、大切ですね。今日は本当にありがとうございました。

PTAの活動自体、苦手で、「得意な人がやれば」と思っていました。地域・保護者の意見や行動につながる活動と思うとやってみることで、1人の影響も大きいのかな？と考えるようになりました。貴重な機会をありがとうございました。

知らない取り組みやそれぞれの思いを聞くことができるととても良かったです。教育はやはり「人」だと実感しました。

もう長い間小中学校の先生方のお話を聞く機会がなく、今日は感慨深くお聞きしました。「フリースクール」の話は、今の介護の現場と似ています。南部の「介護施設」も島外の方が立ち上げました。「ヨソ者が始めたことは島の人々に受け入れてもらえるはずがない」と。しかし現在、苦しんでのお年寄り、介護者の受け入れ先として、必要とされる限り長く続くと思います。私は83才。それでも必要とされ、南部の介護施設でお昼を作っています。まだ働ける場があるなんて幸せです。いずれ介護される側になるでしょうが、今は介護する側で、アルツハイマーの夫を11年間看ています。

さくらまるごとカフェ：島の学校のほとんどが都内から来た先生たち。そんな中で島の子供達に総合的な学習の取り組みを、さくら小としての学年の課題を決めた中から授業の取り組みのヒントをもらう場で、私自身が移住してきた方達と話せる場を作るきっかけになり感謝しています。さらに先生方一人一人が島の方達から島のことに触れる研修は、自分の興味があることを選択でき、時間を確保してくれることはとても素晴らしいと思いました。

みんなが先生：中学校の悩みを保護者の方たちと集まったお茶飲み会からだったことを聞いて、大事なことだと思いました。生徒の質問が増えたというのは、いいですね。

フリースクールSATORI：スタートは大変だと思います。特に、島では「うちの子は不登校で・・・」と語れる保護者の方が少ない環境だからです。選択できる環境を作ってくれた、とっても大切な行動だと思います。英会話教室に来ている子どもたちの声から学ぼうとしていることにも感謝です。

